

履修科目決定モデル

1. はじめに

大学では自身の学びたい分野・科目を選択し、かつ4年間で経営学部の定める卒業要件を満たせるよう計画的に履修する必要があります。1年次においては、以下のモデルおよびシラバスを参考に時間割を組み立ててください。**なお、あくまでもモデルですのでご自身の興味・関心に応じて、モデルに掲載されていない科目を履修してもかまいません。**

2. 1年次における履修科目決定のポイント

- ① 春学期は“1セメ配当”および“1－2セメ配当”、“1－8セメ配当”、秋学期は“1－2セメ配当”および“1－8セメ配当”、“2－8セメ配当”科目が履修可能です。
- ② 春学期、秋学期とも**最大で22単位まで履修することができます。**
- ③ クラス指定科目（登録必須科目）を軸にしましょう。
クラス指定科目は、必ず履修しなければならない科目です。KGUポータルへログインし、画面上部メニューから「履修時間割」でご自身のクラスを確認してください。
なお、科目名の末尾のアルファベットはクラス名を表しています。

20xx 春学期時間割		春学期		秋学期		
	月	火	水	木	金	土
1	KGUキャリアデザイン入門1		Kbizベーシック1			
2				基礎ゼミナール		
3						
4		英会話1		フレッシュヤーズ・イングリッシュ1		
5						

マーケティング 1 A
 科目名 クラス名

- ④ 専門科目は、1セメ（1年次春学期）、2セメ（1年次秋学期）ともに、**基本科目を優先して履修しましょう。**



- ⑤ **総合科目については、1セメは総合基礎科目、2セメは総合テーマ科目を優先して履修しましょう。**
※ 同一科目において複数のクラスを履修することは出来ません。（例：人権論AとBは同一科目のため両方履修することは不可）

- ⑥ 春学期の時間割をベースに秋学期を考えましょう。
春学期は、自らの興味関心を考えつつ、クラス指定科目を軸に、その前後の時間帯に、専門科目や総合科目を配置しながら時間割を組みます。秋学期は、春学期に履修した科目と同じ曜日・講時にあたる科目を選択すると時間割を組みやすいといえます。春学期に履修した科目の担当者は秋学期も同一曜日講時に別の科目を担当していることが多いので、その科目を履修すると良いでしょう。例えば、春学期に月曜5講時の「簿記1C」（A先生）を履修した場合、秋学期も同じ月曜5講時の「簿記2C」（A先生）を履修するといったイメージです。
※ 「簿記1A」「簿記1B」などの科目名の後のローマ字は同じ科目ですが、クラスが異なることを意味します。
なお、科目名の末尾のアルファベットはクラス名を表しています。

- ⑦ 1日の履修科目数は3科目前後にする
シラバスに記載の通り、大学の授業は予習・復習を前提としていますので、1日にあまり多くの科目を履修するのは好ましくありません。クラス指定科目の配置にもよりますが、1日3科目程度を目安にすると良いでしょう。

3. 1年次における時間割の組み立て方

春学期

STEP1 >> クラス指定科目

春学期のクラス指定科目は以下の6科目8単位です。ご自身のクラスをKGUポータルの「履修時間割」で確認しましょう。

春学期
合計8単位

- 英会話1または英会話（上級）1（1単位）
- フレッシュャーズ・イングリッシュ1
またはフレッシュャーズ・イングリッシュ（上級）1（1単位）
- 基礎ゼミナール（2単位）
- KGUキャリアデザイン入門1（1単位）
- KGUキャリアデザイン入門2（1単位）
- K-biz ベーシック1（2単位）

STEP2 >> 経営学科目の基本科目

次に、1セメスターから開講されている基本科目を選択しましょう。経営学科目では「基本科目」として「現代企業1」、「簿記1」、「現代流通1」の3科目が開講されていますので2科目～3科目を履修するとよいでしょう。

※「会計人材育成プログラム」を目指す人は、「簿記1」ではなく「簿記および演習1（3単位）」を履修することが望ましいでしょう。なお、「簿記1」と「簿記および演習1」の同時履修はできません。

STEP3 >> 総合基礎科目

総合科目の「総合基礎科目」の中で興味のあるものを、春学期に開講されている科目から3科目選択してみましょう。

※ 上記【STEP3】までで、春学期20単位が決まりました。残る2単位は「地域志向科目」を履修してみましょう。「地域志向科目」は、本学が立地している神奈川の地域の現状や特色、課題などについて様々な角度から学ぶことができます。卒業までに必ず2単位を修得しなければなりませんので、1年生から履修しましょう。また、語学に興味がある方は、第二外国語を履修してもよいでしょう。

なお、クラス指定科目の配置の関係で、実際には、ここまでで20単位分履修できないこともあるでしょうから、その部分については、『履修要綱』の「経営学部 科目区分表」を見ながら、1年次に配当されている科目から何を履修するかを考えてください。

※「会計人材育成プログラム」を目指す人は、【STEP3】までで春学期21単位が決まりました。「地域志向科目」や「第二外国語」などの1単位の科目を履修して積極的に22単位まで履修しましょう。

秋学期

STEP1 >> クラス指定科目

秋学期のクラス指定科目は以下の3科目4単位です。ご自身のクラスをKGUポータル「履修時間割」で確認しましょう。

秋学期
合計4単位

- 英会話2または英会話（上級）2（1単位）
- フレッシュャーズ・イングリッシュ2
またはフレッシュャーズ・イングリッシュ（上級）2（1単位）
- K-biz ベーシック2（2単位）

STEP2 >> 経営学科目の基本科目

次に、経営学科目の基本科目を選択しましょう。経営学科目では「基本科目」として「現代企業2」、「簿記2」、「現代流通2」、「経営管理1」、「原価計算基礎」、「会計1」、「コンピュータとインターネット1」、「コンピュータとインターネット2」、「マーケティング1」、「経営組織」の10科目が開講されています。これら9科目の中から春学期に履修した科目のペア科目（「現代企業2」、「簿記2」、「現代流通2」）を中心に、5科目10単位分を履修するとよいでしょう。

※「会計人材育成プログラム」を目指す人は、「簿記2」ではなく「簿記および演習2（3単位）」を履修することが望ましいでしょう。「簿記および演習1」を履修した学生は、「簿記2」を履修することはできません。

STEP3 >> 総合テーマ科目

総合科目の「総合テーマ科目」の中で興味のあるものを秋学期に開講されている科目から3科目6単位、選択してみましょう。

※上記【STEP3】までで、秋学期20単位が決まりました。残る2単位は、「キャリア科目」、「基本科目」、「総合基礎科目」、「総合テーマ科目」の中から『履修要綱』の「経営学部 科目区分表」を見て、1年次に配当されている科目のシラバスを読んで受講したいと思った科目を履修しましょう。

春学期に第二外国語を履修した場合は、春学期に履修した科目のペア科目を履修するのもよいでしょう。

※「会計人材育成プログラム」を目指す人は、【STEP3】までで秋学期21単位が決まりましたので、春学期同様に「地域志向科目」や春学期に履修した「第二外国語」のペア科目などの1単位の科目を履修して積極的に22単位まで履修しましょう。

4. 2年次以降の履修科目決定のポイント

- ① 卒業に必要な共通科目は、可能な限り2年次終了時までには修得できるよう意識して科目を選択してください。
- ② 卒業要件と成績表を毎学期照らし合わせ、単位修得状況を都度確認してください。そのうえで卒業に必要な科目区分の中からご自身の興味・関心のある科目を選択してください。
- ③ 2年次に選択したコース科目から積極的に履修するようにしてください。（他コースの科目を修得した場合、卒業要件上は自主選択科目に算入されますが、まずは選択したコース科目の卒業要件を満たすことを優先しましょう。）